

207
330

国立国会図書館 楊屋町伊達豆腐屋：3巻 207-330



ガラス使用

豆の味

金言ハ豆腐の耳まさうひ良菜雪花菜の咽のんはさう
 一本は焼豆腐より二丁半の奴豆腐まで若口塩とん
 野島は云さ九郎助稱荷も神のんがりの多い圃部の六本木
 薩摩いとね葛者大と平む祇園豆腐のやうな
 名角浮世と歌進権をいづく淮南在田楽
 好の高時もまじ喰ひあめ味より東五下八下道哲
 去年のお茶と後拾て膨豆腐の時
 からぬ早作を喰ひやうらるるがねえ山
 喰ひけて豆腐らん者い音もまけ四角いあんて
 目と歴さめて京町の鷲さうひり揚豆腐つうひと
 判らぬ願ひ揚屋町伊達豆腐屋と題とらしめ
 誰もまめして春

鹿杖山人真顔題



金言の豆腐の耳はさうひ良菜の花菜の咽はさうひ
 一本の焼豆腐より二丁半の奴豆腐まで若口塩を
 野島は云さ九郎助稱荷も神がりの多い園部の六本木
 薩摩いとも葛者火と半む祇園豆腐のやうな
 名角浮世を歌進権をいづく淮南田楽
 好の高時もまじり喰ひあめ味より東五下八下道替
 去牛のおまを後拾て勝豆腐の時
 からあ早作を喰ひやうらふがねえ山
 喰ひけて豆腐の者へ音もまけ四角のうて
 目と歴さめて京町の鷲さうひり揚豆腐のつうひ
 判るく頼む揚屋町伊達豆腐屋と題
 誰もまめて春

鹿杖山人真顔題

伊達豆腐屋
 揚屋町

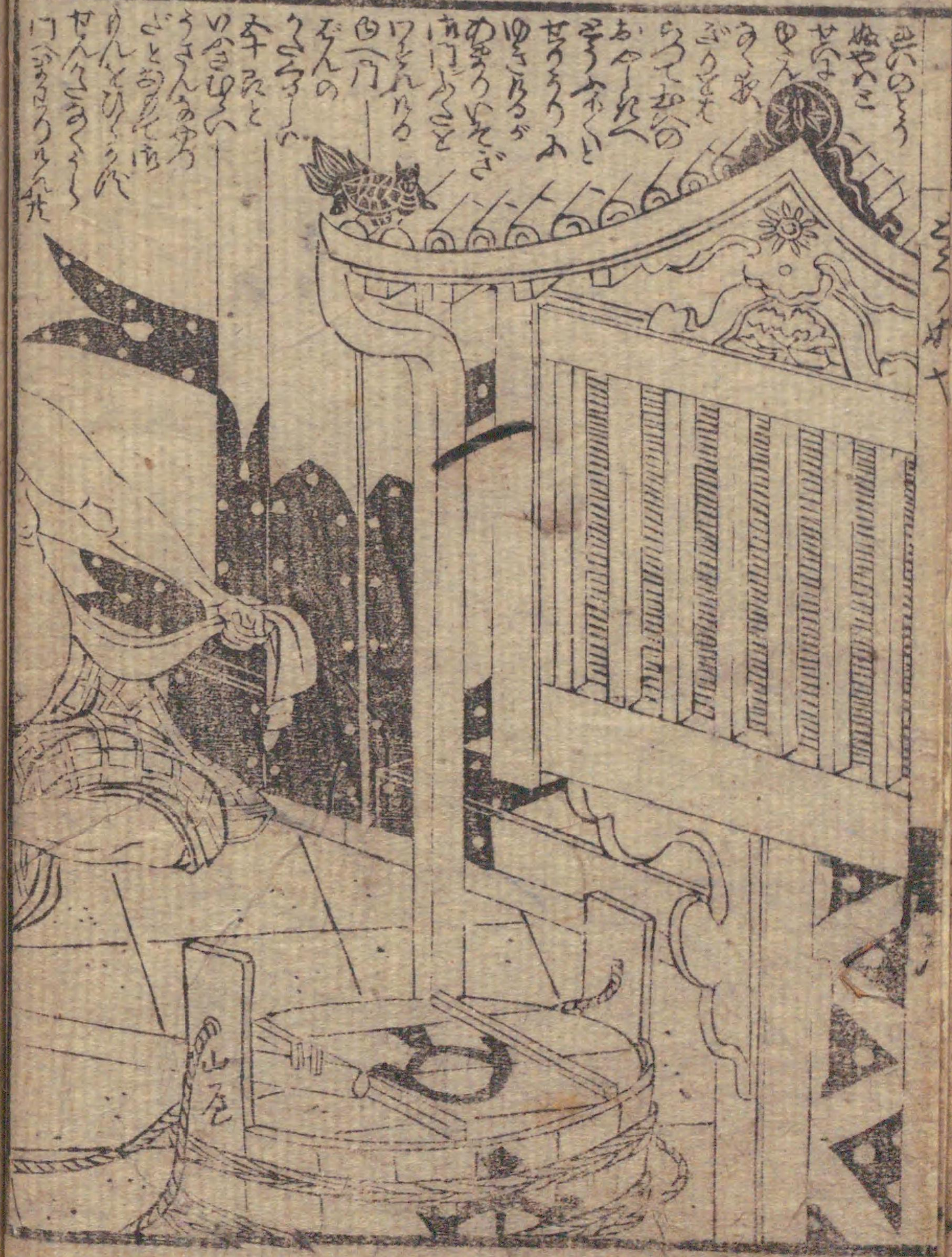






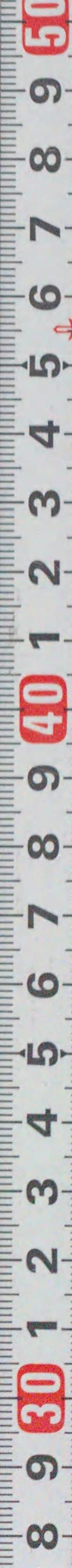


此の物語は...
 昔の事...
 今も...
 昔の事...
 今も...
 昔の事...
 今も...
 昔の事...
 今も...



此の物語は...
 昔の事...
 今も...
 昔の事...
 今も...
 昔の事...
 今も...
 昔の事...
 今も...







207
330

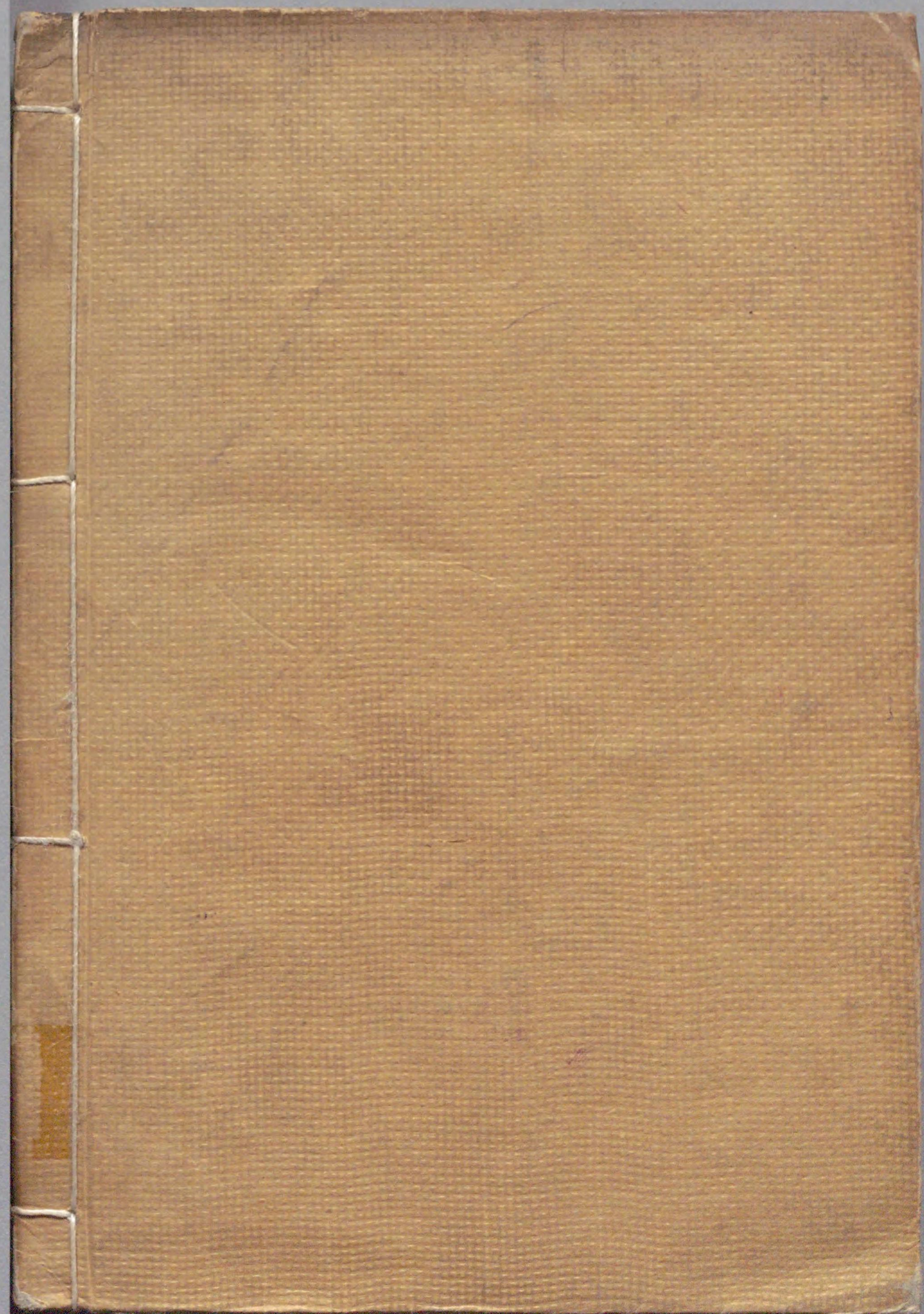


戀川好町戲作





国立国会図書館 楊屋町伊達豆腐屋 : 3巻 207-330



ガラス使用

